

	課題分析	授業改善策	改善状況
国語	○漢字や知識を理解して覚えている生徒は多いが、それを活用することに課題がある。文章を書くことに苦手意識をもつ生徒が多い。	○漢字の習得や短文作成、成語や難語の知識を獲得させるために、ICT機器を使い、ミニテスト等を実施する。達成感の醸成と自分の学力について数値で自覚し、課題の発見と解決を促す。 ○基となる「知識」を獲得することで、思考力・判断力＝「考える力」の強化につなげる。	
社会	○グループワークにおいて、事実に基づいて議論を行うことを苦手とする生徒が多い。 ○全体的に、地理・歴史・公民の各分野間の内容を繋げて考察することができていない。	○ICTを用いた写真や動画等の資料の提示や発問を実施する。 ○ペアワークやグループワークを積極的に取り入れ、言語活動を活発にする。 ○学びに向かう力を育成するため、生徒に身近な課題や、その時々々の社会情勢に関する課題を授業に組み込み、生徒の社会科に対する興味・関心を引き出すことができるよう工夫する。	
数学	○基礎・基本的な内容、特に「知識・技能」については、個人差はあるが、達成できている生徒が多い。 ○発展的内容、「思考・判断・表現」を必要とする問題を解くための力を伸ばす指導の工夫が必要と思われる。	○ワークシートを利用したり、小テストを行ったりして、生徒のつまづきを発見し、的確な助言や指導を行う。 ○基礎基本の定着度合いを確認しつつ、発展的内容を取り入れたり、1つの課題に対して討議させたりするなどして、数学的な見方や考え方を伸ばす工夫をする。 ○解き方を説明させたり、別の解き方を考えさせたりすることで「思考力・判断力・表現力」を養う。	
理科	○定期考査の結果から「知識・技能」に関する問題の正答率が高いが、既習事項を活用した「思考・判断・表現」に関する問題の正答率が低い。 ○複数人で話し合い、問題を解決することが苦手な生徒が多い。	○授業中に既習事項を利用して、未知の課題を解決する場面を増やし、課題解決能力の向上を図る。また、その課題への生徒の取組を評価し、フィードバックすることで課題に主体的に取り組む態度の向上を図る。 ○授業中にペアやグループでの活動を増やすとともに課題解決方法を指導し、コミュニケーション能力と課題解決能力の向上を図る。	
音楽	○歌いたい気持ちはあるが、歌唱に取り組んでいない期間が長かったので、歌唱の発声法が身に付いていない。 ○自分の言葉で自分の考えを述べたり、記述したりすることに苦手意識があり、表現活動が消極的になっている生徒が多い。	○楽譜に書かれている記号を理解させ、身体の使い方や呼吸の仕方などを、丁寧に繰り返し指導し、体得させる。 ○自分の考えをメモする場面を多く作り、それを基にした少人数での話し合い活動も多くし、苦手意識を解消できるようにする。他人の意見や範奏の良さを、ワークシートに記入する活動も取り入れる。	
美術	○意欲的に学ぼうとする生徒が少ない。深く考えたり表現したりする方法を難しく考えてしまう傾向がある。	○ICTを活用し、参考作品を提示し、イメージを膨らませることができるようにする。取り組むことが難しい生徒のために、一人一人机間指導の際に褒め、自信をもてるような働きかけを行う。	
保健体育	○男女共習での学習に取り組んでいるが、男女相互に遠慮が見られ、意欲的に取り組みづらい状況が見られる。授業展開や課題の設定を工夫する必要がある。	○男女共習への抵抗感は、特に運動に対して苦手意識のある生徒に多く見られる。そのため、ルールに工夫を加えることや役割分担をして男女関係なく活躍できる場を設けること、ねらいを男女どちらも達成可能な範囲にすることなどを実践していく。 ○保健授業でのみ活用していたタブレットを課題の提出、資料の提示、小テストなどに幅広く活用していく。	
技術家庭	○意欲的に学ぼうとする姿勢が見られる。 ○対話的・協働的な活動に、積極的に取り組むことができる。 ○発展的な課題に対して、深く考えたり表現したりする方法を難しく考えてしまうことで、活動を諦め、意欲が続かなかったりする生徒も多い。	○ICTを活用し、資料や作業の進め方の例を提示して目標達成までをイメージさせ、理解が技能につながる支援をする。また、繰り返し声をかけるとともに、時間設定を工夫する。 ○生徒用タブレットPCやデジタル教科書等を活用し、興味関心を高め、主体的な態度を育成する。また、学習内容に見通しをもたせて理解を深める。 ○対話的・協働的な活動の中で、見方・考え方を広げ、様々な情報を得た上で知識を活用する力を伸ばす。	
外国語	○英単語の語彙力、不規則変化動詞などの既習範囲の定着が不足している。 ○4技能のうち、特に「話す」「書く」の能力が低く、苦手な生徒が多い。	4技能の定着に向けて、以下のように取り組む。 ○教科書の story retelling を毎時間取り上げ、コミュニケーション能力の向上を目指す。 ○長文読解のドリルを中間、期末考査に取り入れる。また、問題を自主制作し、授業内で取り入れる。 ○タブレットを活用し、スピーキングテストに向けた対策を行っていく。	